

応用ツール② 褥瘡管理

1. 氏名 _____ 生年月日 _____

2. 治療医療機関 _____ ・ 担当医 _____

3. **1) Depth(深さ)**

d 0: 皮膚損傷・発赤なし
 d 1: 持続する発赤
 d 2: 真皮までの損傷
 D 3: 皮下組織までの損傷
 D 4: 皮下組織を越える損傷
 D 5: 関節腔、体腔に至る損傷
 DTI: 深部損傷褥瘡(DTI)疑い
 D U: 壊死組織で覆われ深さの判定が不能

5) Granulation tissue(肉芽組織)

g 0: 創が治癒した場合、創の浅い場合、深部損傷褥瘡(DTI)疑いの場合
 g 1: 良性肉芽が創面の90%以上を占める
 g 3: 良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める
 G 4: 良性肉芽が、創面の10%以上50%未満を占める
 G 5: 良性肉芽が、創面の10%未満を占める
 G 6: 良性肉芽が全く形成されていない

4. _____)

- DESIGN-R[®]2020 褥瘡経過評価

・Depth (深さ) → ()	Granulation (肉芽組織) → ()
・Exudate(滲出液) → ()	Necrotic tissue (壊死組織) → ()
・Size (大きさ) → ()	Pocket (ポケット) → ()
・Inflammation/Infection (炎症/感染) → ()	
- 現在の使用薬剤および投与量

--	--
- 消毒薬・ドレッシング材の種類・数

--	--

～ 上記薬剤および材料の要継続期間 (推定)
- 使用器具・提供数(*バック療法がある場合記載)

--	--

～ 上記使用器具の要継続期間 (推定)
- 褥瘡処置回数 → _____

4) Inflammation/Infection(炎症/感染)

i 0: 局所の炎症徴候なし
 i 1: 局所の炎症徴候あり(創周囲の発赤、腫脹、熱感、疼痛)
 I 3C: 臨界的定着疑い(創面にぬめりがあり、滲出液が多い。肉芽があれば、浮腫性で脆弱など)
 I 3: 局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭など)
 I 9: 全身的影響あり(発熱など)

褥瘡② ・ 位置(_____)

- DESIGN-R[®]2020 褥瘡経過評価

・Depth (深さ) → ()	Granulation (肉芽組織) → ()
・Exudate(滲出液) → ()	Necrotic tissue (壊死組織) → ()
・Size (大きさ) → ()	Pocket (ポケット) → ()
・Inflammation/Infection (炎症/感染) → ()	
- 現在の使用薬剤および投与量

--	--
- 消毒薬・ドレッシング材の種類・数

--	--

～ 上記薬剤および材料の要継続期間 (推定)
- 使用器具・提供数(*バック療法がある場合記載)

--	--

～ 上記使用器具の要継続期間 (推定)
- 褥瘡処置回数 → _____

5. その他(褥瘡の状態変更時の対応方法等)

作成者 所属 _____ 記入者 _____
 ツール管理者 所属 _____ 氏名 _____

応用ツール② 褥瘡管理

●日本褥瘡学会

●DESIGN-R® 2020(日本褥瘡学会)

●NPO法人 創傷治癒センター

応用ツール③ 認知症管理

●函館市 認知症の方とその家族のためのサービス

【内容】

- ・函館市成年後見制度利用支援事業
- ・知ってあんしん認知症ガイドブック(函館市認知症ケアパス)
- ・認知症ガイド
- ・はこだてオレンジケアチーム(函館市認知症初期集中支援チーム)
- ・だれでも認知症カフェ
- ・介護マーク

●函館地区高齢者のためのSOSネットワーク

【内容】

警察・保健所・市町等で行方不明の高齢者を早期に発見、保護するネットワーク

●函館市 認知症疾患医療センター

《函館市内のセンター》

【亀田北病院 認知症疾患医療センター】

【富田病院 認知症総合医療センター】

【函館渡辺病院 認知症疾患医療センター】

●日本認知症学会

●健康長寿ネット (高齢者の病気⇒認知症)

応用ツール④ 食事摂取困難管理

●函館歯科医師会

●道南圏域 在宅歯科医療連携室

●北海道栄養士会

●健康長寿ネット (高齢者と食事)

●健康長寿ネット (高齢者の病気⇒老年症候群⇒低栄養)

●健康長寿ネット (高齢者の病気⇒老年症候群⇒嚥下困難)